

第3回 童話塾 in 東北

あなたの物語を書こう！ 今こそ東北から児童文芸を！

「童話塾 in 東北」では、日本児童文芸家協会会員の作家による講演と、東北在住の作家との交流会を行います。今年は、より具体的な童話の書き方について勉強いたします。童話を書いている方はもちろん、これから書いてみたいと思っている方も、ぜひご参加ください。

- 開催日時: 2016年7月17日(日) 13:00~16:30(12:30開場)
- 会場: 仙台市民活動サポートセンター6F セミナーホール
※地下鉄広瀬通駅西5番出口すぐ 仙台駅から歩いて15分
- 定員: 先着50名様予定/事前予約が必要です。
- 参加費: 2,000円/当日会場にてお支払いください。

●第1部 講演会 13:00~

仙台在住の作家・佐々木ひとみが講演、著書多数のベテラン作家・高橋秀雄が公開の添削指導を行います。

「ふるさとを書くということ」 講師: 佐々木 ひとみ



自分が暮らしている場所と向き合い、その場所を好きになることは、自分自身を好きになることにつながる——。そんな思いを胸に、土地に根差した物語を書いています。私流の“物語の種”のを見つけ方や、そこから生まれた作品の背景などをお話します。

◎プロフィール

茨城県出身、仙台市在住。児童文学作家・コピーライター。2010年『ぼくとあいつのラストラン』(ポプラ社)で「第20回椋鳩十児童文学賞」を受賞。主な著書に『七夕の月』(ポプラ社)、『ドラゴンのなみだ』(学研)、『もののけ温泉 滝の湯へいらっやい』(岩崎書店)などがある。今秋、『ぼくとあいつのラストラン』が原作の映画「ゆずの葉ゆれて」が公開予定。

「一瞬のときめき、ときめきに向けての“一生懸命”を」 講師: 高橋 秀雄



児童文学・童話には「感動の具体化」という役目がある。読者に感動を残し、感激を共有する書き手の姿勢が必要だ。私自身は楽な「感動の具体化」を模索し実践してきた。まずは短い時間内でのドキュメントにすることだ。それを皆さんの作品をもとに考えてみたいと思う。

◎プロフィール

栃木県日光市出身。宇都宮市在住。1995年『月夜のバス』(新日本出版社)でデビュー。2009年『やぶ坂に吹く風』(小峰書店)で第49回日本児童文学者協会賞受賞。2012年『地をほう風のように』(福音館書店)が第58回青少年読書感想文全国コンクール課題図書に選定される。新刊に『黄砂にいだむ』(新日本出版社)がある。

●第2部 交流会 15:00~

日本児童文芸家協会会員の作家を中心にグループに分かれ、参加者の作品について意見交換を行います。合評の仕方や具体的な創作方法を学びながら、交流を深めましょう。創作に関する質問・相談も大歓迎です。

■6月20日(月)お申込み受付開始

参加ご希望の方は、往復ハガキまたはメールに、①住所 ②氏名 ③電話番号 ④メールアドレス ⑤創作に関する質問を明記の上、お申し込みください。

【宛先】〒981-1516 宮城県角田市西根郵便局留「童話塾in東北」実行委員会

【メールアドレス】touhokujyuku@gmail.com

■お問い合わせ先:「童話塾in東北」実行委員会 【メールアドレス】touhokujyuku@gmail.com

主催: 一般社団法人 日本児童文芸家協会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-16-3 金子ビル202 TEL 03-3262-6026 FAX 03-3262-8739